

決算期 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒530-0004
(お問い合わせ先) 大阪府大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村證券株式会社 全国本支店
※株式関係のお手続用紙のご請求は、
次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話 (通話料無料)
0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)
インターネットホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
公 告 方 法 電子公告
<http://www.faith.co.jp/ir/koukoku/>
ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

免責条項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

Faith IR Mail
フェイスの最新情報をお届けします。

IR関連情報をE-mailで無料配信しております。
プレスリリース等を発表とほぼ同時に、月に2-3回程の頻度で送信申し上げます。



ご登録はこちらから
<http://www.faith.co.jp/ir/mail.html/>

株式会社フェイス

〒604-8171
京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル
<http://www.faith.co.jp/>

お問い合わせ先
TEL.075-213-3933 FAX.075-213-3833



株式会社フェイス 第16期営業のご報告

Faith, Inc. Annual Report (2007.4.1~2008.3.31)



07.11.05

「カザスチャンネル」から始まる新スタイル。

NFRM™サービス対応動画コンテンツを容易に検索できる、総合ポータル携帯サイトです。各プロバイダが提供する、ライブ映像、プロモーションビデオ、吉本興業所属のタレントによるライブ映像、ドキュメンタリー映像番組、グラビアアイドル動画等を簡単・便利に購入することができます。

「NFRM™」サービスの詳細は、P5をご覧ください ▶▶



07.11.26

アーティストの自宅から世界へリリース!

アーティストが直接視聴者に音楽・映像を届けられる新たな「しくみ」です。アーティストはピアースに登録するだけで、自宅パソコンから音楽・映像を配信したり、イベントのプロモーションに利用、またCD制作・販売等の支援・代行を受けることができます。



ハイライト2008

毎日をもっと便利に、楽しく。 今期、次々と新たなサービスを創造

08.2.13

「永久不滅コンテンツ」配信サービス開始。

さまざまなプレゼントと交換可能な「セゾン」永久不滅ポイントが貯まるモバイルコンテンツ配信サイトです。コミック、ゲーム、占いのほか、アロマセラピーやネイルアート、恋愛等の女性向けコラム等をバリエーション豊富に取り揃えています。



08.2.25

デビット型の新電子マネー「Debit@」誕生。

「WebMoney」で「即時払い(デビット)」ができる新決済サービスです。事前にバリューを購入する手間が不要、また従来まで必要だった16桁のプリペイド番号も不要になる等、より「WebMoney」が簡単・便利にご利用いただけるようになりました。



社長メッセージ



新たなライフスタイルの創造へ。

代表取締役社長 平澤 創

コンテンツ流通の新しい「しくみ」創りを推進

現在、ブロードバンドインターネットはNGN(次世代ネットワーク)の始動等利用環境が大幅に向上し、一方、コンテンツの視聴環境も、プロセッサの向上やデジタルハイビジョンの普及等により、一層の多様化・複雑化を見せています。また、デジタルコンテンツの流通量は映像・ゲーム等を中心に増加の一途を辿っています。

つまり、ユーザーがこれら多様化したコンテンツを楽しむためには、多種多様な視聴端末、視聴シーンにあわせたプラットフォームを用意することが求められているのです。こうした中、フェイス・グループは、ネットワークや情報端末にとらわれないマルチプラットフォームでの、分野にとらわれないマルチコンテンツの配信を実現するコンテンツ流通の「しくみ」の創造・深化に精力的に取り組んでまいりました。

そのひとつに、フェイスが独自に開発した視聴権利情報の認証技術NFRM™(Near Field Rights Management®)があります。当期、フェイス・

グループでは、このサービスの本格展開をはかるため、さまざまな施策を打ち出し、具現化してまいりました。

例えば、これまでFelicaの近距離通信だけであった権利認証を、広く一般的に普及しているリモコンで使用される赤外線通信での利用を可能にし、シャープのパソコンテレビ「インターネットAQUOS」にこの機能を搭載、デモンストレーションを行いました。また、NFRM™対応のコンテンツをパソコンで再生するためのアプリケーション「NFRM PC Viewer」を国内主要メーカーのパソコンにプリインストール(標準搭載)する等、利用環境の整備に努めてまいりました。さらにフェイス子会社であるギガネットワークスが、1,000以上のNFRM™対応優良コンテンツを配信する「ギガミランカ」を、フェイスが各プロバイダの提供するNFRM™対応コンテンツを容易に検索・購入できる総合ポータル携帯サイト「カザスチャンネル」をそれぞれオープンし、対応コンテンツの拡充をはかりました。

NFRM™以外の分野でも、子会社メディカルコミュニケーションが、携帯・パソコンからいつでも個人の過去の医療健康情報を取りだせる

法人向けサービス「ポケットQQ™健診サービス」を開始しています。また安全かつ便利な決済手段として市場が拡大する電子マネー「WebMoney」においては、即時払い(デビット)ができる新決済サービス「Debit@」をスタートさせています。さらに、大手クレジットカード会社等との提携により、ECプラットフォームの構築・運営展開を拡大、音楽・映像アーティストが視聴者に直接自分の作品や情報を届けられる「viBirth.com」等、新たなコンテンツ流通の「しくみ」創りに励んでまいりました。

ライフスタイルを創造する マーケットクリエイターとして

冒頭でも申し上げました通り、フェイスグループの事業における基本スタンスは、コンテンツ流通の新しい「しくみ」を創造していくことです。こうしたポジションを、私どもは、市場そのものを新たに創り出す『マーケットクリエイター』と位置づけています。現在フェイス・グループでは、携帯を主軸とした新たな技術・サービスの開発を手がけていますが、これは携帯が、今日および今後長い年月において、私たちの日常生活に大きな影響を及ぼす主要な「デバイス(機器)」であると考えているからです。携帯はこれまで、さまざまなコミュニケーションの手段として、またおサイフケータイにみるように決済を行うデバイスとして多彩に進歩してきました。今後もこの進化はさらに加速すると思われ、生活全般をより豊かにする利便なデバイスとして、私たちのイメージをはるかに超えた機能を有していくかもしれません。とはいえフェイスが主眼としているビジネスのテーマは「日常生活を、もっと便利に快適に楽しくしていく」こと、すなわち「ライフスタイルの変革」にあります。フェイスの最大の事業目的はまさにここにあり、この新たな「しくみ」創りを達成するためであれば携帯というプラットフォームにこだわらず、他のメソッド(手段)も柔軟かつ積極的に選択し、新たなビジネスモデルを構築してまいります。

また、フェイス・グループは、当期も買収や有力企業との提携を積極的に行ってまいりましたが、これは前述の通り、デジタルコンテンツ配信市場が拡大の一途を辿っており、より多様化する利用者のニーズに応えるには、多岐に渡る分野のスペシャリストが結集し、次なる展開を発想していくことが何よりも重要だと考えているからです。フェイスがグループ戦略をはかっているのはこのためで、決して事業の多角化を企図するものではありません。あくまで、

有用なサービスの開発と事業展開のスピード化をはかるための、グループ戦略であるのです。

さらに、今期はフェイス・グループの企業理念を制定いたしました。これはグループ各社がそれぞれの専門性を活かしながらも、ベクトルを同じくし、より一層のシナジーによるパワーを創出していくことを目指したものです。フェイス・グループは、今後もこの理念のもと、一丸となり企業価値の向上に努めてまいります。

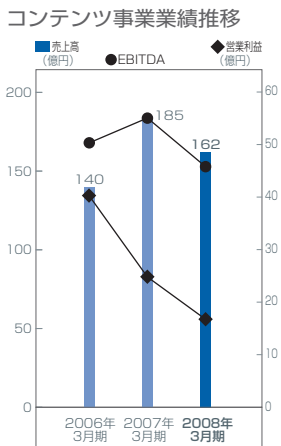
フェイス・グループ企業理念

あるものを追うな。ないものを創れ。

私たちが見ているのは、「いま」ではなく「これから」。
現在の社会に既にあるものを追わず、
将来の社会にとって価値があるものをゼロから創る。
笑顔あふれる心豊かなライフスタイルを全てのひとへ。

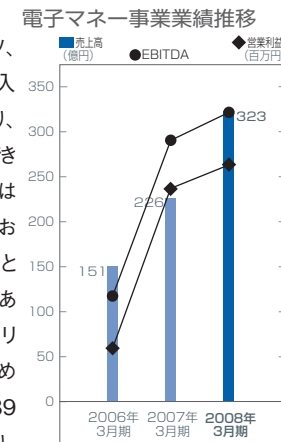
■ コンテンツ事業

当期は、NFRM™の商用サービスのスタートやNFRM™対応機器の拡大等、マルチプラットフォーム・マルチコンテンツの配信マーケットの創造に向けた取組みに加え、個人認証・医療健康情報配信・電子決済・EC等に必要プラットフォームの構築に積極的に取り組んでまいりました。以上の結果、売上高は積極的な事業提携や買収等により国内コンテンツ配信事業は順調に拡大しましたが、海外コンテンツ配信子会社の売却による減収があったことから16,264百万円(前年同期比12.4%減)となりました。営業利益は、売上高の減少に加え、音楽・映像配信における配信許諾権使用料の増加および引き続き新規事業への先行投資負担があったことから1,674百万円(前年同期比32.6%減)となりました。



■ 電子マネー事業

オンラインゲームや携帯コンテンツ、映像配信等、デジタルコンテンツ購入シーンは引き続き需要が拡大しており、ネットワーク上で安全・便利に決済ができる電子マネー「WebMoney」の決済額は大幅に伸長いたしました。当事業においては、ユーザーへの利便性向上策としてネットワーク上でのお財布機能である「ウェブマネーウォレット」の全面リニューアルを実施、機能の強化に努めました。以上の結果、売上高は32,389百万円(前年同期比43.0%増)となり、営業利益は527百万円(前年同期比11.5%増)となりました。



■ その他の事業

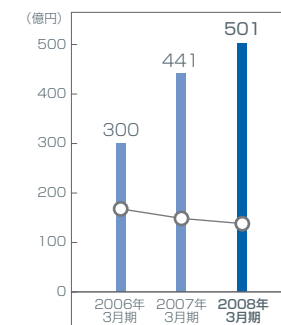
その他の事業については、ポイントカードシステム事業収入等により、売上高は1,538百万円(前年同期比47.1%減)、営業利益は81百万円(前年同期は53百万円の営業損失)となりました。

■ 次期の見通し

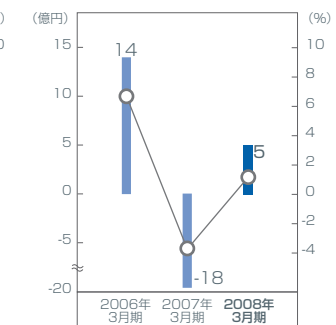
フェイス・グループでは、多様化・複雑化する利用環境においてユーザーが、一元的にサービスが利用できるよう、シームレスな「しくみ」を提供してまいります。また独自にコンテンツを制作プロデュース、NFRM™に関しても一層の利用環境整備に努めてまいります。さらには医療健康情報サービスの拡充、電子マネーの発行も積極的に推進してまいります。以上の結果、次期のフェイス・グループの売上高は57,000百万円(前年同期比13.6%増)を予想しております。一方、利益面では現在取組んでいる新たなマルチプラットフォームでのマルチコンテンツ配信サービスの企画開発、構築の先行投資負担および多様な情報端末向けリッチコンテンツの制作プロデュース、調達を引き続き推進することにより、営業利益は1,200百万円(前年同期比47.1%減)、経常利益は1,000百万円(前年同期比47.6%減)、当期純利益は100百万円(前年同期比81.4%減)を予想しております。

財務ハイライト(連結)

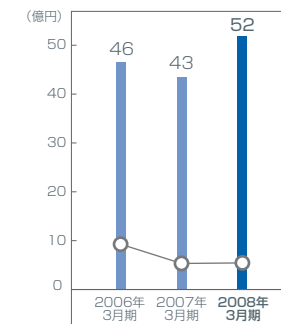
売上高/売上高総利益率



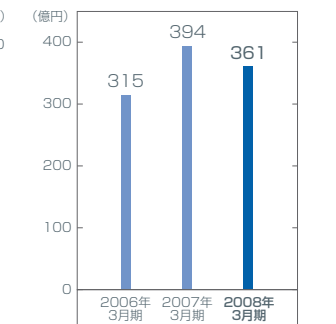
当期純利益/当期純利益率



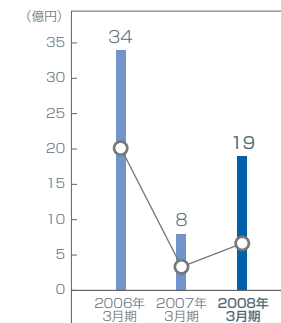
EBITDA/EBITDA利益率



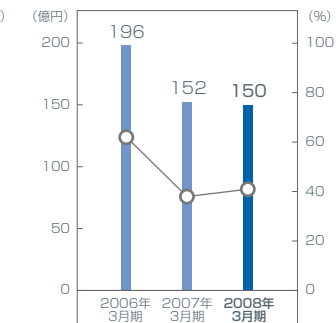
総資産



経常利益/経常利益率



自己資本/自己資本比率



NFRM™でコンテンツの楽しみ方が変わる。

NFRM™は、フェイスが開発した新しいタイプの権利認証技術です。
 携帯で好きなときに映像等のコンテンツを検索・購入、
 携帯で視聴できるのはもちろん、
 パソコンに「かざす」だけで、大画面で楽しむこともできます。

例えばこんな風に・・・



コンテンツを探し、視聴権利購入



外出先でみんなで楽しむ



ケータイをかざすだけで・・・



自宅の大画面で楽しむ

ますます利用環境が向上!

国内主力メーカーのパソコンにプリインストール
 NFRM™に対応する動画コンテンツをパソコンの画面で再生するために必要なアプリケーション「NFRM PC Viewer」がソニーほかNEC、東芝、富士通といった国内有力メーカーのパソコンにプリインストールされました。またNFRM™は、広く一般的に普及している赤外線通信(リモコン等で利用)のデモンストレーションを実施、対応デジタル機器・携帯機種が大幅に増加します。



インターネットAQUOSでのデモンストレーション

デジタル家電やモバイル端末で視聴可能に
 現在、ユーザーがNFRM™コンテンツ利用の際、携帯、パソコン、デジタル家電、モバイル機器等利用する端末にとらわれず視聴できる配信ソリューションを、インテル、クイックサン、ドリームポート、フェイスの4社により開発中です。より簡単で、便利にNFRM™コンテンツが楽しめる環境を整備しています。



ますますコンテンツが多彩に!

NFRM™対応ポータルサイト「カザスチャンネル」

NFRM™サービス対応動画コンテンツを容易に検索できる、総合ポータル携帯サイトです。豊富なラインナップの中から見たいNFRM™対応コンテンツを選択すると、各プロバイダの携帯サイトで簡単に購入でき、携帯で楽しめるほか、パソコン等に「かざす」だけで、大画面で楽しめます。



ラスカル
©NIPPON ANIMATION CO., LTD
Presented by Junime.com



パニックインザヴァレッジ
©2007 La Partii/
コーギャズ+デスベラード

キラーコンテンツ配信サイト「ギガミランカ」

携帯やパソコンで楽しめる1,000以上のキラーコンテンツを持つ携帯サイトです。キラーコンテンツは「映画」「テレビ/ドラマ」「アニメ/特撮」「グラビア」「お笑い」「趣味」「音楽」といった多ジャンルにおよび、その数は合計1,000以上(オープン時)、さらに毎月約50タイトルを追加していく予定です。パソコンで本編視聴が可能な海外人気ドラマ、ハリウッド映画作品等も配信しています。



ギガミランカTOPページ



プロジェクトX ©NHK



東映特撮映像 ©東映特撮BBアーカイブス

3キャリアのおサイフケータイで視聴が可能

NFRM™は、NTTドコモだけでなく、KDDI、ソフトバンクモバイルのおサイフケータイに対応した電子チケットサービス「ピットモット」にも対応し、3キャリアでの利用が可能です。アプリケーションを立ち上げることで、おサイフケータイでNFRM™対応の動画コンテンツを視聴することができます。



連結貸借対照表

科目	前連結会計年度 2007年3月31日現在	当連結会計年度 2008年3月31日現在
資産の部		
流動資産	20,030,513	22,683,987
現金及び預金	8,217,827	13,424,006
受取手形及び売掛金	6,929,263	6,861,259
有価証券	347,644	250,227
たな卸資産	636,880	488,727
未収還付法人税等	865,236	516,982
繰延税金資産	1,350,004	763,972
その他	1,889,891	588,379
貸倒引当金	△206,234	△209,568
固定資産	19,403,485	13,467,724
有形固定資産	1,031,386	660,312
無形固定資産	11,180,274	8,530,378
投資その他の資産	7,191,823	4,277,033
投資有価証券	5,273,058	3,490,977
長期貸付金	180,045	—
敷金	1,440,442	—
その他	1,037,395	920,572
貸倒引当金	△739,117	△134,516
繰延資産	8,161	22,567
資産合計	39,442,160	36,174,279

(単位:千円)

科目	前連結会計年度 2007年3月31日現在	当連結会計年度 2008年3月31日現在
負債の部		
流動負債	15,483,265	13,991,508
支払手形及び買掛金	4,648,274	5,922,813
短期借入金	5,215,768	2,529,928
未払法人税等	580,242	136,221
カード利用原価引当金	2,511,846	2,873,200
ポイント引当金	553,247	468,391
賞与引当金	129,177	87,445
その他	1,844,707	1,973,507
固定負債	8,044,052	5,637,720
長期借入金	6,119,854	4,083,472
繰延税金負債	535,501	522,858
退職給付引当金	35,535	49,229
債務保証損失引当金	1,298,550	—
関係会社損失引当金	—	300,561
その他	54,611	681,599
負債合計	23,527,318	19,629,228
純資産の部		
株主資本	13,848,687	14,266,980
資本金	3,218,000	3,218,000
資本剰余金	3,708,355	3,708,355
利益剰余金	7,276,602	7,694,895
自己株式	△354,269	△354,269
評価・換算差額等	1,385,858	746,591
新株予約権	487	—
少数株主持分	679,808	1,531,478
純資産合計	15,914,842	16,545,050
負債純資産合計	39,442,160	36,174,279

連結損益計算書

(単位:千円)

科目	前連結会計年度 2006年4月1日～ 2007年3月31日	当連結会計年度 2007年4月1日～ 2008年3月31日
売上高	44,152,751	50,192,701
売上原価	31,215,018	37,087,481
売上総利益	12,937,733	13,105,220
販売費及び一般管理費	11,877,157	10,838,540
営業利益	1,060,576	2,266,680
営業外収益	132,383	383,429
営業外費用	339,293	740,591
経常利益	853,667	1,909,519
特別利益	3,713,124	1,748,481
特別損失	6,277,532	1,539,526
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	△1,710,741	2,118,474
法人税、住民税及び事業税	752,730	553,584
法人税等調整額	△733,791	754,971
少数株主利益	153,333	272,584
当期純利益又は純損失(△)	△1,883,013	537,334

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	前連結会計年度 2006年4月1日～ 2007年3月31日	当連結会計年度 2007年4月1日～ 2008年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,371,764	6,112,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,978,639	344,254
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,739,964	△3,944,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	59,799	36,482
現金及び現金同等物の増加額	192,889	2,548,762
現金及び現金同等物の期首残高	7,679,435	8,065,471
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	193,146	—
現金及び現金同等物の期末残高	8,065,471	10,614,234

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(2007年4月1日～2008年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算差額 等合計	新株引受権		
2007年3月31日 残高	3,218,000	3,708,355	7,276,602	△354,269	13,848,687	1,195,867	189,991	1,385,858	487	679,808	15,914,842
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△119,042		△119,042						△119,042
当期純利益			537,334		537,334						537,334
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△396,468	△242,798	△639,267	△487	851,670	211,915
連結会計年度中の変動額合計	—	—	418,292	—	418,292	△396,468	△242,798	△639,267	△487	851,670	630,208
2008年3月31日 残高	3,218,000	3,708,355	7,694,895	△354,269	14,266,980	799,398	△52,807	746,591	—	1,531,478	16,545,050

株式状況

(2008年3月31日現在)

発行可能株式総数	1,990,000株
発行済株式総数	1,196,000株
株主数	19,584名

大株主

(2008年3月31日現在)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	466,399	39.17
シービーニューヨークインテルキャピタルコーポレーション	31,600	2.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	21,567	1.81
吉本興業株式会社	20,687	1.73
田中 治雄	15,138	1.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	14,664	1.23
資産管理サービス信託銀行株式会社	9,803	0.82
大阪中小企業投資育成株式会社	9,800	0.82
株式会社ドコモ・ドットコム	9,000	0.75
日本証券金融株式会社	7,166	0.60

※持株比率は自己株式(5,580株)を控除して計算しています。

取締役および監査役

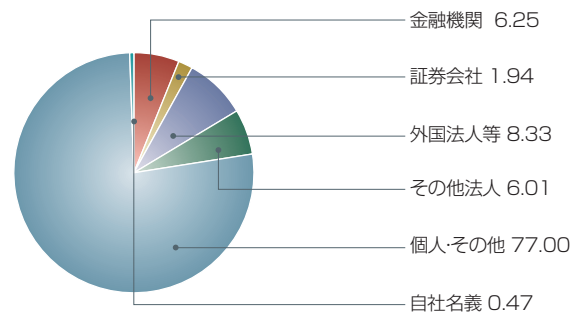
(2008年6月27日現在)

代表取締役社長	平澤 創
取締役	踊 契 三
取締役	佐 伯 浩 二
取締役	小清水 勝
取締役(非常勤)	樋口 泰 行 (マイクロソフト株式会社代表執行役社長)
常勤監査役	渡 邊 章
常勤監査役	清 水 章 (公認会計士)
監査役	富岡 康 真 (財団法人テレコムエンジニアリングセンター) テレック総合研究所 グループリーダー)
監査役	菅谷 貴 子 (弁護士)

※樋口泰行は、社外取締役であります。
※監査役全員は、社外監査役であります。

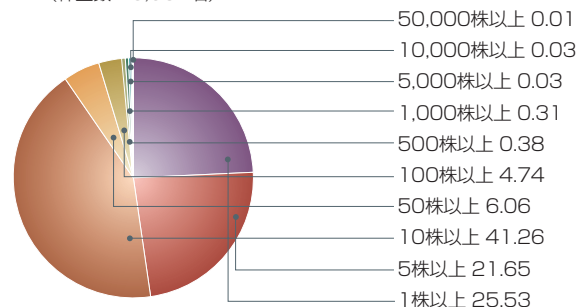
所有者別分布状況(%)

(発行済株式総数 1,196,000株)



所有株数別分布状況(%)

(株主数 19,584名)

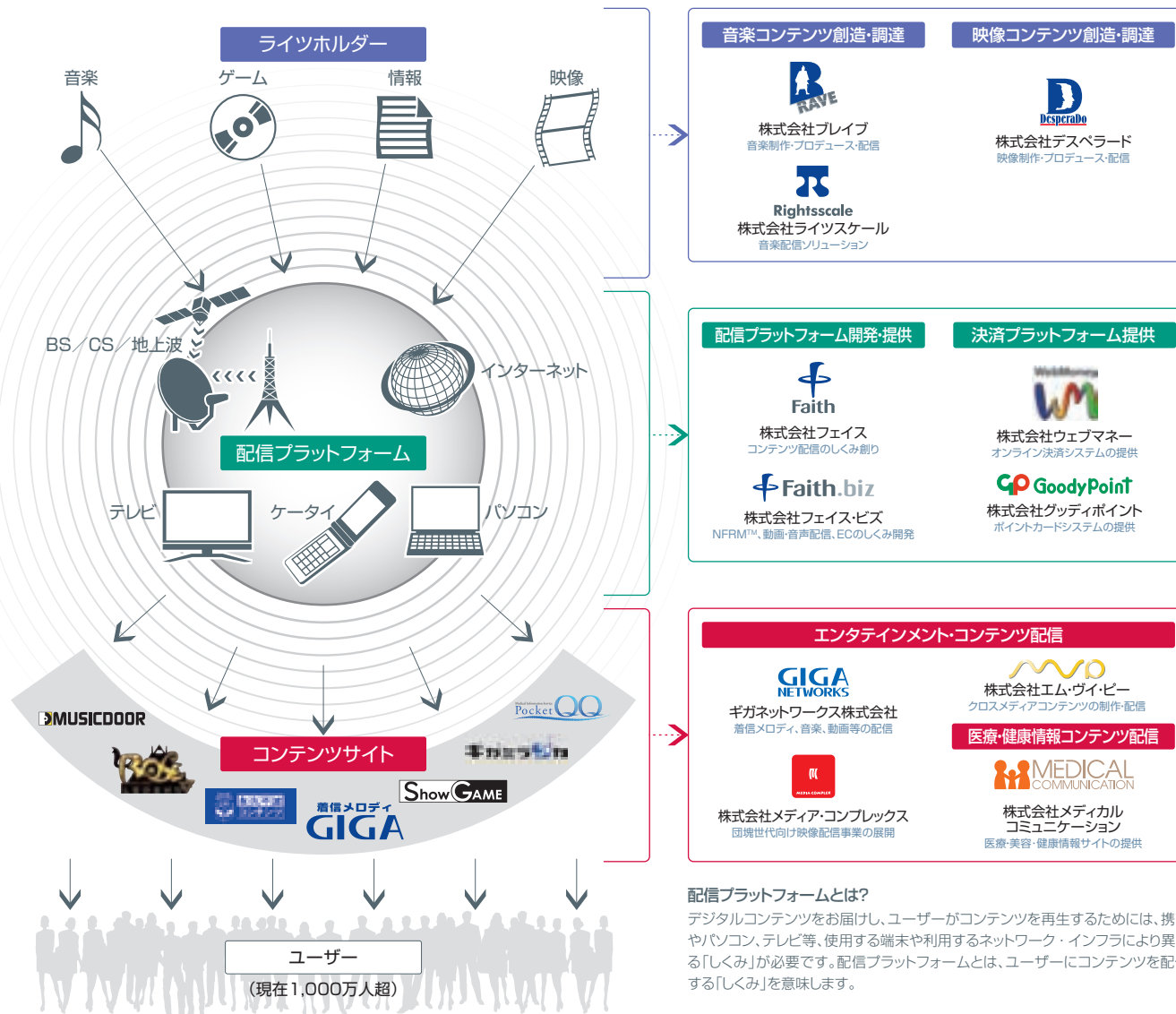


アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

(2008年5月30日現在)

青木 利晴	株式会社NTTデータ 相談役
	株式会社NTTデータ 元代表取締役社長
	日本電信電話株式会社 元代表取締役副社長
南部 靖之	株式会社パナソニック 代表取締役社長
堀 裕	堀総合法律事務所 代表
	社会保険庁・文部科学省大臣官房総務課・日本郵政グループ(ゆうちょ銀行・郵便局会社等)各顧問弁護士
	みずほグループ各社 顧問弁護士
	国立大学法人千葉大学理事・副学長
山本 恵朗	財団法人みずほ国際交流奨学財団 理事長
	株式会社みずほホールディングス 元取締役会長
	株式会社富士銀行 元頭取

シナジーを追求し、コンテンツ流通の「しくみ」創りへ。



配信プラットフォームとは?
デジタルコンテンツをお届けし、ユーザーがコンテンツを再生するためには、携帯やパソコン、テレビ等、使用する端末や利用するネットワーク・インフラにより異なる「しくみ」が必要です。配信プラットフォームとは、ユーザーにコンテンツを配信する「しくみ」を意味します。